平成24年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月24日

上 場 会 社 名	キーコーヒー株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	2594	URL	http://www.keycoffee.co.jp/
代　　表　　者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）柴田　裕	
問合せ先責任者	（役職名）財務部長	（氏名）橋口　芳久	(03)3433-3311
四半期報告書提出予定日	平成23年11月７日	配当支払開始予定日	平成23年11月25日

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成24年３月期第２四半期の連結業績（平成23年４月１日～平成23年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年３月期第２四半期	26,085	5.8	11	△97.6	116	△80.1	△6	―
23年３月期第２四半期	24,661	△3.5	469	△15.6	585	△14.2	195	△40.6

（注）　包括利益　24年３月期第２四半期　△66百万円(―%)　23年３月期第２四半期　22百万円(―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
24年３月期第２四半期	△0　28	―
23年３月期第２四半期	8　82	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年３月期第２四半期	44,174	32,995	72.2
23年３月期	43,391	33,323	74.2

（参考）　自己資本　24年３月期第２四半期　31,874百万円　23年３月期　32,177百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
23年３月期	―	10　00	―	10　00	20　00
24年３月期	―	5　00			
24年３月期(予想)			―	5　00	10　00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成24年３月期の連結業績予想（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	53,800	10.5	210	△44.6	430	△29.7	8	△92.2	0　36

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年３月期２Ｑ	22,464,000株	23年３月期	22,464,000株
②　期末自己株式数	24年３月期２Ｑ	329,188株	23年３月期	329,164株
③　期中平均株式数（四半期累計）	24年３月期２Ｑ	22,134,816株	23年３月期２Ｑ	22,135,381株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 9
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 12
（５）セグメント情報等 …… 12
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（平成23年４月1日から平成23年９月30日までの６ヶ月間）における当社グループを取巻く経営環境は、東日本大震災の影響による経済活動の停滞や電力供給問題に世界経済失速の懸念も加わり、依然として不透明な状況となっております。

コーヒー業界につきましては、業績に大きな影響を及ぼすコーヒー生豆相場は、平成22年４月には１ポンドあたり130セント前後であったものが、平成23年４月には280セントを突破するなど上昇を続け、５月上旬に300セントの大台を超えるなど急騰しました。６月にはやや落ち着きを取り戻したものの、９月上旬には再び300セントに急迫するなど、前年同期間と比較して倍近い高値圏にあります。このコーヒー生豆価格の上昇に加え、コーヒー以外の製品の原材料となる砂糖や穀物類の国際相場も高騰するなど、これまでにない、極めて厳しい環境になっております。

このような市場環境の下、当社グループはコーヒーの持つ魅力をお客様にお届けし続けるという企業使命を果たすため、「収益性拡大」「市場競争力強化」「ブランド価値向上」を３つの柱とし、新たな事業領域の開拓、生活者のニーズにお応えする新商品の開発、お客様との絆を深める営業活動を展開してまいりました。

業績面につきましては、調達から製造・物流面までのあらゆる工程の見直しを行うなど原価上昇の圧縮や販管費の削減に努めましたが、原材料価格の高騰は企業努力を遥かに上回りました。さらに東日本大震災の影響による販売価格改定作業の遅延、個人消費の急激な落ち込みや外食産業における震災後の自粛ムードによる消費マインドの悪化なども加わり、利益面に大きな影響を及ぼす結果となりました。

以上により、当社グループの当第２四半期連結累計期間の売上高は260億85百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益は11百万円（同97.6%減）、経常利益は１億16百万円（同80.1%減）となりました。また、四半期純損失は６百万円（前年同期は１億95百万円の純利益）となりました。

セグメントの営業概況は次のとおりであります。

（コーヒー関連事業）

業務用市場では、トアルコトラジャコーヒーや氷温熟成珈琲などの高付加価値商品の販売に注力する一方、課題解決型の営業活動を推進致しました。また、お取引先売上げ向上の支援策として、「スパイシーカレーフェア」や「トロピカルマンゴーフェア」などの各種販促を実施致しました。
家庭用市場では、お気に入りのマイボトルでいつでもどこでも、すっきりした味わいのアイスコーヒーが楽しめる「マイボトルでつくろう！水出しコーヒー」、ご家庭や職場で気軽にカフェ気分が楽しめる「割りカフェ」シリーズを発売しました。
ギフト商品では、有機農法で栽培されたコーヒー、紅茶、ぶどうを使用した安全、安心の飲料ギフト「有機栽培飲料バラエティギフト」など全43アイテムを発売し、前年同期を上回る販売実績となりました。
直営のキーコーヒーショップでは、こころとからだにくつろぎをもたらす食生活を提案する新業態のハーブティーショップ「mi to ha(みとは・実と葉)by KEY COFFEE」を都内百貨店に出店致しました。
新たな商品カテゴリー創出の取組みとしては、本場イタリアのエスプレッソコーヒーの味わいをご家庭で手軽にお楽しみいただけるイタリアのコーヒーメーカーillycaffe S.p.A.（イリカフェ社）のエスプレッソシステム「METODO IPERESPRESSO（メトド・イペールエスプレッソ）」の市場導入を行いました。
この結果、当第２四半期連結累計期間におけるコーヒー関連事業の売上高は222億82百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は１億58百万円（同69.8%減）となりました。

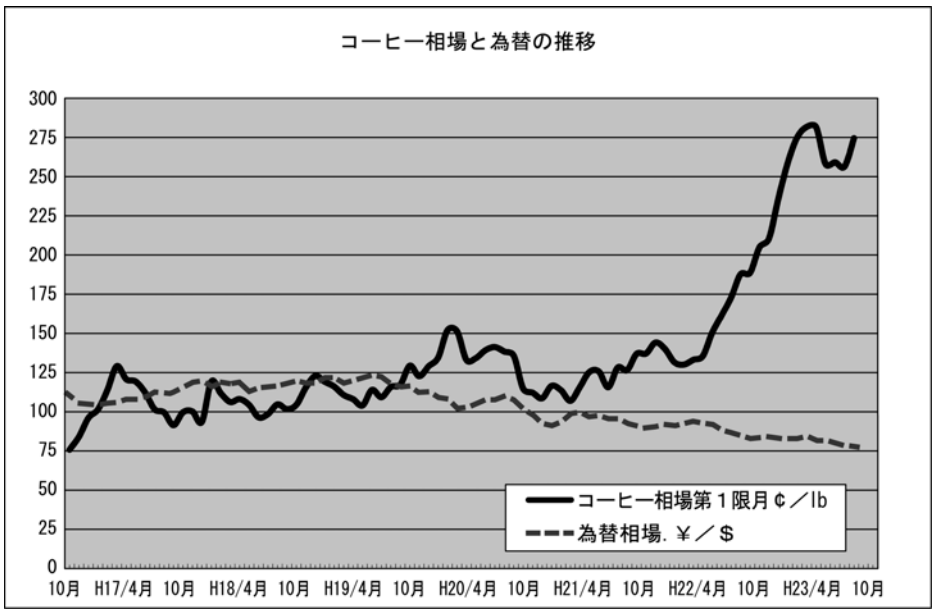
（飲食関連事業）

株式会社イタリアントマトでは、「国内は充実」「海外は拡大」の方針の下、国内においては既存店舗の充実とケーキ類の商品開発の強化、また、新たな業態開発も進め、小田原に店内焙煎を行う「イタリアン・トマト 自家焙煎工房」をオープンしました。一方、海外においては、アジア地域を中心としたエリア開発を進めました。
出店状況につきましては、フィリピンでは初となる「和茶房 鎌倉 夢見屋」を首都マニラに出店するなど新規に７店出店致しました。一方、不採算店17店を閉鎖し、店舗数は302店（直営店69店、ＦＣ店233店）となりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間における飲食関連事業の売上高は26億43百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益は19百万円（同82.3%減）となりました。

（その他）

当第２四半期連結累計期間におけるその他の売上高は11億59百万円（前年同期比6.1％増）、営業利益は１億４百万円（同29.2％減）となりました。



（コーヒー相場：ニューヨークコーヒー先物相場）

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

総資産は前連結会計年度末に比べて７億82百万円増加し、441億74百万円となりました。

流動資産は14億73百万円増加し、223億94百万円となりました。これは受取手形及び売掛金の増加（６億16百万円増）、たな卸資産の増加（５億47百万円増）、現金及び預金の増加（４億20百万円増）などによるものであります。

固定資産は６億90百万円減少し、217億79百万円となりました。有形固定資産は、機械装置及び運搬具等の減価償却が新規取得額を上回ったことなどにより３億37百万円減少し、無形固定資産も21百万円減少しました。投資その他の資産では、投資有価証券の減少（３億38百万円減）などにより３億31百万円減少しました。

（負債）

負債は前連結会計年度末に比べて11億10百万円増加し、111億78百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べて10億73百万円増加し、87億59百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が増加（13億２百万円増）したことなどによるものであります。

固定負債は36百万円増加し、24億18百万円となりました。

（純資産）

純資産は前連結会計年度末に比べて３億27百万円減少し、329億95百万円となりました。これは利益剰余金の減少（２億27百万円減）などによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想については、平成23年10月24日公表の「平成24年３月期第２四半期（累計）連結業績予想値と実績値との差異及び平成24年３月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載すべき重要な事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,749	7,170
受取手形及び売掛金	6,989	7,605
有価証券	4,036	4,108
商品及び製品	1,177	1,243
仕掛品	149	177
原材料及び貯蔵品	1,070	1,524
繰延税金資産	231	229
その他	537	367
貸倒引当金	△21	△32
流動資産合計	20,921	22,394
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,709	6,562
機械装置及び運搬具（純額）	2,196	2,046
土地	6,316	6,316
その他（純額）	790	750
有形固定資産合計	16,012	15,674
無形固定資産		
のれん	183	170
その他	287	278
無形固定資産合計	470	448
投資その他の資産		
投資有価証券	3,574	3,236
長期貸付金	223	235
繰延税金資産	97	215
差入保証金	1,737	1,655
その他	659	631
貸倒引当金	△305	△317
投資その他の資産合計	5,987	5,655
固定資産合計	22,470	21,779
資産合計	43,391	44,174

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,611	5,914
短期借入金	346	408
未払金	1,268	1,013
未払法人税等	186	147
賞与引当金	346	332
災害損失引当金	122	87
その他	804	855
流動負債合計	7,685	8,759
固定負債		
長期借入金	245	155
繰延税金負債	5	3
再評価に係る繰延税金負債	634	634
退職給付引当金	581	777
資産除去債務	221	223
その他	694	624
固定負債合計	2,382	2,418
負債合計	10,068	11,178
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,465	4,465
資本剰余金	4,873	4,873
利益剰余金	26,957	26,729
自己株式	△540	△540
株主資本合計	35,754	35,527
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	127	51
土地再評価差額金	△3,701	△3,701
為替換算調整勘定	△3	△3
その他の包括利益累計額合計	△3,577	△3,653
少数株主持分	1,145	1,121
純資産合計	33,323	32,995
負債純資産合計	43,391	44,174

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
売上高	24,661	26,085
売上原価	16,582	18,696
売上総利益	8,078	7,389
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び見本費	601	529
荷造運搬費	524	539
車両費	264	263
貸倒引当金繰入額	9	32
役員報酬	180	181
給料及び賞与	2,803	2,828
賞与引当金繰入額	369	256
退職給付引当金繰入額	263	283
福利厚生費	456	449
賃借料	554	545
減価償却費	224	186
消耗品費	174	162
研究開発費	119	100
その他	1,063	1,019
販売費及び一般管理費合計	7,609	7,377
営業利益	469	11
営業外収益		
受取利息	25	24
受取配当金	31	52
負ののれん償却額	3	－
持分法による投資利益	6	－
受取家賃	20	20
その他	42	40
営業外収益合計	130	137
営業外費用		
支払利息	6	8
持分法による投資損失	－	3
為替差損	－	16
リース解約損	5	0
その他	2	3
営業外費用合計	14	32
経常利益	585	116

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
特別利益		
固定資産売却益	－	0
投資有価証券売却益	35	－
負ののれん発生益	1	26
特別利益合計	36	27
特別損失		
固定資産除却損	9	16
投資有価証券売却損	－	0
投資有価証券評価損	51	－
会員権売却損	－	6
解約負担金	14	－
事業整理損	－	19
災害損失	－	30
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	80	－
特別損失合計	154	72
税金等調整前四半期純利益	467	70
法人税、住民税及び事業税	260	126
法人税等調整額	7	△64
法人税等合計	268	62
少数株主損益調整前四半期純利益	198	8
少数株主利益	3	15
四半期純利益又は四半期純損失（△）	195	△6

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	198	8
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△176	△77
為替換算調整勘定	0	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△176	△75
四半期包括利益	22	△66
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	18	△82
少数株主に係る四半期包括利益	4	15

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	467	70
減価償却費	729	656
負ののれん償却額	△3	－
負ののれん発生益	△1	△26
固定資産除却損	9	16
固定資産売却損益（△は益）	－	△0
投資有価証券売却損益（△は益）	△35	0
投資有価証券評価損益（△は益）	51	－
災害損失	－	30
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	80	－
解約負担金	14	－
会員権売却損益（△は益）	－	6
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△18	24
賞与引当金の増減額（△は減少）	△32	△13
退職給付引当金の増減額（△は減少）	170	195
受取利息及び受取配当金	△56	△76
支払利息	6	8
持分法による投資損益（△は益）	△6	3
事業整理損失	－	19
売上債権の増減額（△は増加）	△137	△613
たな卸資産の増減額（△は増加）	27	△547
仕入債務の増減額（△は減少）	791	1,302
未払金の増減額（△は減少）	△184	△233
その他	45	68
小計	1,915	891
利息及び配当金の受取額	44	66
利息の支払額	△6	△9
災害損失の支払額	－	△50
法人税等の支払額	△359	△164
法人税等の還付額	－	74
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,594	808

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△3,000	△3,000
有価証券の償還による収入	2,031	3,000
投資有価証券の取得による支出	△1,059	△221
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,012	370
有形固定資産の取得による支出	△312	△322
有形固定資産の売却による収入	0	1
その他	△83	69
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,411	△101
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	－	72
短期借入金の返済による支出	－	△10
長期借入金の返済による支出	△90	△90
配当金の支払額	△221	△221
その他	△27	△37
財務活動によるキャッシュ・フロー	△338	△287
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△155	420
現金及び現金同等物の期首残高	7,599	7,136
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,443	7,556

（４）継続企業の前提に関する注記

当第２四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日)

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第２四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日)

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	コーヒー関連事業	飲食関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,865	2,703	23,568	1,092	24,661	―	24,661
セグメント間の内部売上高又は振替高	220	1	222	632	855	△855	―
計	21,086	2,705	23,791	1,725	25,516	△855	24,661
セグメント利益	522	109	632	147	780	△310	469

(注)　1.　その他は、オフィスコーヒー事業及び通販事業、飲料製品製造事業、運送物流事業、保険代理店事業等を行っております。

２．セグメント利益の調整額 △３億10百万円には、セグメント間取引消去 ３百万円、棚卸資産の調整額 △３百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △３億９百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第２四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日)

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	コーヒー関連事業	飲食関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	22,282	2,643	24,926	1,159	26,085	―	26,085
セグメント間の内部売上高又は振替高	217	1	218	795	1,014	△1,014	―
計	22,500	2,644	25,145	1,954	27,100	△1,014	26,085
セグメント利益	158	19	177	104	282	△270	11

(注)　1.　その他は、オフィスコーヒー事業及び通販事業、飲料製品製造事業、運送物流事業、保険代理店事業等を行っております。

２．セグメント利益の調整額 △２億70百万円には、セグメント間取引消去 ２百万円、棚卸資産の調整額 △０百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △２億72百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第２四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日)

該当事項はありません。